

## 安全性で選択するなら「MZ」

SZシリーズよりもチークガード部を左右30ミリずつ伸ばした新感覚の特征的フォルム。そしてチークガード部に設けられたドルフィンリブにより、外観からも従来のオープンフェイスよりも、ホホ部の安全性を大きく確保していることがわかる「MZ」。安全性に関しては、目に見えない部分でも、大きく進化しています。



### SNELL M2010取得

各国の法律で定められたオートバイ用ヘルメットの規格よりも、厳しい条件を課し、ヘルメットの規格として最も厳しいとされるSNE LL規格。最新のSNELL M2010規格では、アメリカや日本市場で販売されるモデルを対象とした従来のSNELL規格とは異なり、試験方法を大幅に変更し、今まで取得不可能であった欧州規格のヘルメットでも、基準を満たせば取得可能となりました。

しかしながら、その厳しさからか、規格施行から6ヶ月経過しても欧州メーカーの規格適合品は現れていません。SNELL規格の本部のあるアメリカでは、一般ユーザーの認識として、法で定められたアメリカの強制規格DOT+任意で取得するSNELL規格両方を取得したものが、安全性高いモデルとして一般的に認識されていますが、スネル規格を取得していない欧州メーカーでは、アメリカの強制規格DOTとヨーロッパの強制規格ECE=R22規格を両方取得しているからと、舌肉のキャンペーンを始めているほどです。また、多くのSNELL M2010規格取得モデルは、従来のM2005規格取得モデルに比べ、大きく重たくなっている傾向が見受けられます。

●モデル名: **MZ**

- 規格: SNELL-M2010、JIS ●帽体: PB-cLc
- カラー: 白、グラスホワイト、レオングレー、アルミナシルバー、グラスブラック
- サイズ: (54)、(55-56)、(57-58)、(59-60)、(61-62)
- メーカー希望小売価格: ¥42,000 (税込¥44,100)



#### 高い衝撃吸収能力を確保した頬部緩衝ライナー



#### サラツとした肌ざわりが快適な「冷・乾」内装



このように厳しいSNELL M2010規格を、シェル円周を大きくすることもなく、重量も増やさずに取得しているのが「MZ」です。帽体には、[PB-cLc] 構造を改良。F-1用ヘルメットのテクノロジーから生まれたスーパーファイバーベルトを、今までの前頭部だけでなく後頭部にまで配し、重量を増やすことなく剛性を強化。緩衝ライナーも、部位により発泡倍率を変化させ、倍率自体も引き下げることで、最新のSNELL規格をクリアしています。

### 頬部緩衝ライナー

ドルフィンリブで剛性を確保されたチークガード部内側には、フルフェイスに使用されるシステムパッドを採用。SZシリーズイヤークップ内に用いられた緩衝ライナーよりも、倍以上の厚みと面積を有し、フルフェイスと同等の高い衝撃吸収能力を確保しています。

このように目に見えない部分で大きく進化している「MZ」。デザインシリーズも、好評のMZアーバンに続き、7月にはMZフレームが登場します。ご期待ください。

**NEW**



#### MZ-URBAN

- カラー: 黒、赤
- ¥50,000 (税込¥52,500)

#### MZ-FLAME

- カラー: 黒
- ¥50,000 (税込¥52,500)

